

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

融合理工学系では、次のようなもつ人材を求めます。

- ・理数系の分野を中心として幅広い学問に関して十分な基礎学力を有し、自分の考えたことを論理的かつ明快に説明できる基礎的能力を有すること
- ・国際社会が抱える問題や地域社会の問題に対する興味、またそれを解決しようとする意思を持ち、そのための学問を積極的に学ぶ意欲を有すること

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般入試（前期）】《全類共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【特別入試（AO入試）】

《4類》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

- ・筆記試験においては、与えられた課題に対して、多角的な視点から考察し、その結果を論理的かつ明快に記述する能力を問います。
- ・面接試験においては、理数分野を主としたテーマに対して論理的かつ明快に説明する能力を問います。

次頁

融合理工学系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

《6類》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

（A：造形課題，B：筆記・面接，C：面接のいずれかの試験を選択）

A：造形課題

建築に関する思考に必要となる3次元の空間把握・表現についての能力を評価します。

B：筆記・面接

国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して、問題の所在を整理し、解決策を提示できる能力並びに表現の能力を試します。

C：面接

グローバル化する世界における様々な国際的な環境・社会問題に対して、科学技術を活用して問題解決に貢献するための素養を、面接によって評価します。

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- A) 広い分野に应用できる基礎学修（論理的・数学的な思考力・解析力，物理現象・自然現象に対する理解力，汎用的な計測技術・計算技術）
- B) 既存の学問分野に囚われない応用学修（与えられた問題を適切な手法で解決できる能力，システムを理解し，運用する能力）
- C) グローバルエンジニアとしての人間力の取得（コミュニケーション能力，社会的責任感・倫理観，自主性・行動力）

ディグリー・ポリシー（修得する力）

融合理工学系では、次のような力を修得することができる。

- 広い分野に応用できる基礎能力
 - ・論理的・数学的な思考力・解析力
 - ・物理現象・自然現象に対する理解力
 - ・汎用的な計測技術・計算技術
- 既存の学問分野に囚われない应用能力
 - ・与えられた問題を適切な手法で解決できる能力
 - ・新たな技術・価値・概念を企画・提案・試行する能力
 - ・システムを理解し、運用する能力
- グローバルエンジニアとしての人間力
 - ・コミュニケーション能力
 - ・社会的責任感・倫理観
 - ・自主性・行動力